

FP まつもと通信

ちょっと得する「保険」や「年金」についての話題をお届けします。

ご挨拶

「自助の日」はご存知ですか？

一般社団法人記念日協会のHPをみると以下のように記載があります。

“人生100年時代を迎える現代社会において一人ひとりが豊かな人生を送るために、ライフプランや資産形成、健康の増進、保険などで自ら将来の準備をする「自助」について考える日としてもらうのが目的。日付は5と28で「自助」にとって大切な「希望、知恵、財運、健康、愛」を意味する「五（5）つ（2）葉（8）＝（いつつば）」の語呂合わせから。”

制定したのは一般社団法人生命保険協会。少し語呂合わせに無理があるように感じますが、保険やその他の金融商品が長い人生に合っているか確認してはいかがでしょうか？

自助の日リーフレット
一般社団法人生命保険協会

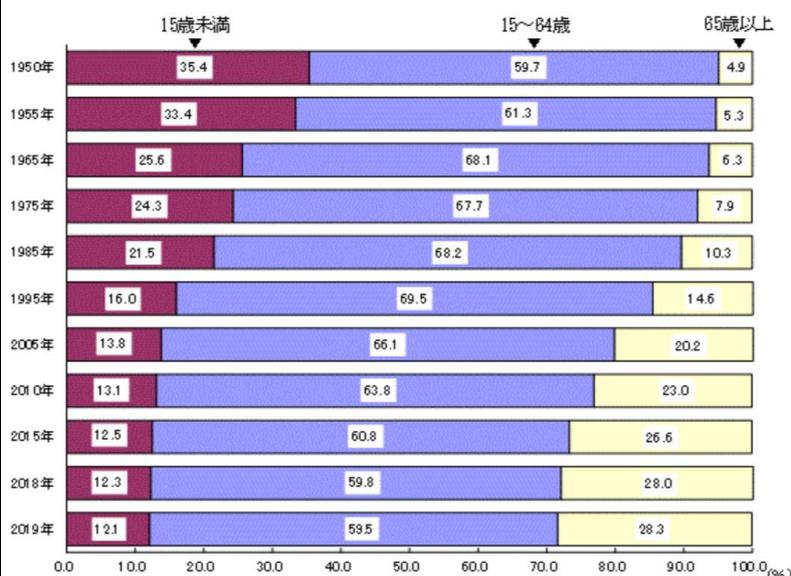


今月号のちょっと気になるお金のコラム

2024年から新紙幣になります。今使う事ができる最も古い紙幣はいつのものだと思いますか？

こどもの数は1533万人、38年連続減少。

総務省は先月、こどもの日にちなんで平成31年4月1日現在のこどもの数（15歳未満）の推計を公表しました。これによると、子どもの数は、前年に比べ18万人少ない1533万人で、1982年から38年連続の減少となり、過去最少だったようです。



こどもの割合は、12.1%とこちらも過去最低、1975年から45年連続で減少しています。1950年には1/3以上だったこどもが今まさに高齢者になっているのですね。

人口の問題を解決するには長い年月がかかります。老後や社会保障が安心なものになるようになってほしいですね。



FP 松本相談センター
CFP・IFA・DCコンサルタント
媚山裕之
〒390-1702
長野県松本市梓川梓856-26
0263-76-1250 090-8741-7358
info@fp-matsumoto.com
<https://fp-matsumoto.com>

2012年から2015年までの3年間、社会保険労務士として「年金事務所における年金相談業務」に従事。そこで、数多くの“悲惨な老後の実態”を目の当たりにし、老後に向けた資産形成の必要性を痛感。国も勧める、“確定拠出年金”や“つみたてNISA”を活用した「長期・分散・つみたて投資」を真面目に、地道に推進。クイズやゲームを活用した『つみたて投資セミナー』は「わかりやすく、ためになる！」と多くの受講者からご支持をいただいております。

確定拠出年金加入者のための資産運用ガイド

積立投資の推移



N社バランスファンドのデータによる（コスト控除後）

	積立合計額	株式75%	株式50%	株式25%
2019年3月末	250,000	247,577	249,022	251,131
2019年4月末	260,000	263,998	263,024	262,719
2019年5月末	270,000	263,319	266,265	270,356

2017年3月から開始した積立投資は図表のようになりました。

確定拠出年金のような長期の積立投資で成果を得るためには以下のポイントが大切です。

投資期間に応じた資産配分

積立期間が長い場合には株式の比率を多く、受取時期が近くなったら値動きが小さい債券の比率を多めにする。

大幅に値下がりした場合

積立期間が十分にある場合は、株式への資産配分の増額、掛金の増額を検討する。

株式・債券の特徴を理解して長期継続する。

株式や債券の特徴をよく理解して、様々なニュースや情報に惑わされず投資を長期継続することが成果に結びつきます。

5月の株価は日米とも大幅に下落しました。

	日経平均	NYダウ	ドル円
4月末	22,258.73	26592.91	111.42
4月末	20601.19	24815.04	108.31
騰落率	-7.45%	-6.69%	

米中貿易摩擦の終息が見えない事、また月末にはトランプ大統領がメキシコに関税を賦課する方針を打ち出したことで日米とも株価は大幅に下落しました。

世界1、2の経済規模を誇る米中の貿易問題の終息が見えるまでは株式市場は不安定な値動きが続くという見方が多いようです。

長期の積立投資では、ニュースや日々の値動きにあまりとらわれることなく継続することが成果につながります。少し不安に感じるかもしれませんが、しっかりと継続してください。

株式市場が不安定なので一時的に株式を債券等にシフトしておいた方がよいですか？

米中貿易摩擦、リーマンショックから10年以上の上昇相場、膨れ上がる各国、企業の債務など多くの懸念が指摘されています。

このような時は、一時的に株式を売却して債券等にスイッチングをして様子を見たほうがよいのでは、と感じる方もいるかもしれません。

仮に心配が的中し今後しばらくは値下がりし、今よりもずっと安いところで再度株式を買いなおすことができれば良いですね。

しかしながらタイミングを的中させるのは難しいですし、何より思ったように下がらなかったり、一時的にでも株式市場から撤退すると大きな機会損失を被るかもしれません。

確定拠出年金加入者のための資産運用ガイド

バートン・マルキールは、著書ウォール街のランダムウォーカー（1973年の初版以来、全米累計150万部を超え、投資の名著としてよく知られているロングセラー）の中で以下のようなデータを紹介しています。

“1980年代にはS&P500平均でみた株式投資の総リターンは年平均17.6%にもなったが、合計2528取引日のうち最も上昇率の大きかった10日間を逃しただけで、平均リターンは12.6%にも下がってしまったことになるのだ。対象を60年代から90年代に広げてみても、同様な結果が指摘できる。”

また最近では、JPモルガンアセットマネジメントが同様のデータを紹介しています。

それによると、1988年1月から2019年3月まで米国株（S&P500配当込）に投資継続していた場合、資産は22倍に膨らんでいました。この30年間のうち、上昇率上位の3日間を逃しただけで、17倍までリターンは下がってしまったそうです。

JPモルガンアセットマネジメントホームページより



<https://www.jpmorganasset.co.jp/letssolveit/ja/library/mv-t-eq-markettiming-201905.html>

これらのデータを見ると、仮に上手にタイミングをとらえることができれば良いのですが、タイミングを外すと大きな機会損失につながるということがわかります。

また、現在最も著名な投資家の1人であるウォーレン・バフェットは、2017年の株主に宛てた手紙で以下のように書いています。

“株価が下がっているときに投資家がやるべきことは2つだ。市場にとどまること。そして安く買うことだ。”

大きな下落があったり、下落が長く続くと、「もっと下がりそうだ」、というニュースも多くなり不安を感じるようになるかもしれません。

一時的に株式を債券等にスイッチングしたくなることもあると思いますが、このような事例を思い出して冷静に対応することが大切です。

ちょっと気になるお金のコラム

2024年に紙幣デザインが変更になることが発表されました。紙幣の変更は20年ぶり、図柄は下記のように変わります。

(参考) 現行券

財務省HPより

券種	表(肖像)	裏
一万円券	福沢諭吉	鳳凰像
五千円券	樋口一葉	燕子花図
千円券	野口英世	富士山と桜

(3) 図柄

券種	表(肖像)	裏
新一万円券	渋沢栄一	東京駅(丸の内駅舎)
新五千円券	津田梅子	フジ(藤)
新千円券	北里柴三郎	富嶽三十六景 ※2

※2 富嶽三十六景「神奈川沖浪裏」(葛飾北斎)

日本で最初の紙幣は？

山田羽書が日本最古の紙幣と言われています。

1600年頃、伊勢国(現三重県)山田の商人によって使われ始めました。当初は、銀貨による釣銭の代わりとして使用されはじめ、しだいに通貨として広まったと言われています。

江戸時代には、藩で使える藩札、明治になると政府による「政府紙幣」や、各地に設立された国立銀行による「国立銀行紙幣」などが発行されました。

明治15年(1882年)に日本銀行が設立され現在と同じような「日本銀行券」が正式なお札として発行されるようになりました(1885年)。

ご参考：伊勢河崎商人館

<http://www.isekawasaki.jp/hagaki/>

古いお札はいつまで使える？

財務省のHPには、早速以下の記載がありました。

“「現行の日本銀行券が使えなくなる」などを騙った詐欺行為(振り込め詐欺など)にご注意ください”

お札(貨幣も)は法律で使えなくなる、と決まらない限りいつまでも使う事ができます。

日本銀行のHPには、現在発行はされていないが有効な銀行券、という記載があります。

全部で18種類あるのですが、その中で最も古い紙幣は、なんと明治18年発行の1円札です。



日本銀行HPより

もちろん1円として使う事ができます。

明治時代の1円の価値は正確にはわかりませんが、そばが1杯2銭程度と言われていますから今の価値にすると2万円(現在400円とすると)ぐらいになるのではないのでしょうか？

お札の値段は？

日本のお札は精緻な印刷を施していますが、日本銀行が国立印刷局から仕入れる値段は、1枚20円程度といわれています。

20円の紙が1万円として利用できているのは、利用者が日本銀行を信用しているからです。

お金のこと、年金のこと、保険のこと、 すっきりしたい方、安心したい方は無料FP相談をご利用ください

- ✓ 保険料を払いすぎているか確認したい
- ✓ 自分が加入している保険がどのような時にでるのか確認したい
- ✓ 年金がいくらぐらいもらえるのか知りたい
- ✓ 年金が不安だがどのように準備したらよいか知りたい
- ✓ 火災保険や自動車保険のお得な入り方を知りたい
- ✓ 確定拠出年金の商品選びについて教えて欲しい
- ✓ その他



このようなことで少しでも気になることがある場合はご相談ください。ニュースレター会員の方向けに無料でFP相談を行っています。

ご相談事例

- 昔に入った生命保険を見直して毎月の保険料が大幅にダウン。
- 年金定期便の見方がわかり、具体的に老後資金準備のイメージがつかめた。
- 最近の医療制度や医療技術に合わせた保険に変更でき安心した。

FP無料相談 お申込

ご確認したい項目に、必要事項をご記入の上、ファックスでお申込ください。折り返しご連絡を差し上げます。

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 生命保険のお得な入り方 | <input type="checkbox"/> 年金定期便の見方 |
| <input type="checkbox"/> 加入生命保険の内容を確認したい | <input type="checkbox"/> 老後資金の準備について |
| <input type="checkbox"/> がん保険・先進医療保険について | <input type="checkbox"/> 教育資金の準備について |
| <input type="checkbox"/> 損害保険のお得な入り方 | <input type="checkbox"/> 年金商品の選び方 |
| <input type="checkbox"/> その他 | <input type="checkbox"/> 確定拠出年金の商品選びについて |

お名前

電話番号

メール

 (ブロック体でご記入ください)

勤務先

お役職

お問い合わせはホームページからも承ります⇒
<https://fp-matsumoto.com>



↓ FAX:050-3730-0380 ↓

個人情報の利用目的：当該サービスを提供。当社サービスのご案内